
プログラム

理事長講演

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 14:15～14:50

大腸がん死亡率低下への道筋 - 大腸検査学会の将来展望 -

司会：吉田 茂昭(医療法人徳洲会 東京本部)

演者：斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

会長講演

2026年10月30日(金) 第1会場(3F ホールD) 13:15～13:55

大腸内視鏡と歩んだ軌跡

司会：藤城 光弘(東京大学大学院医学系研究科 消化器内科)

演者：佐野 寧(医療法人薫風会 佐野病院・関西医科大学)

会長特別企画1

2026年10月30日(金) 第2会場(3F ホールC) 10:30～12:00

領域横断的に考える大腸がん予防

司会：堀田 欣一(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)

矢野 友規(国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科)

食道・頭頸部癌患者から考える大腸癌予防

— 飲酒関連癌とサーベイランス —

演者：堅田 親利(京都大学医学部附属病院 腫瘍内科)

領域横断的に考える大腸がん予防

厚生労働省の立場から - 大腸内視鏡医への期待 -

演者：堀松 高博(京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構)

検診の立場から考える大腸がん予防

演者：小林 望(国立がん研究センター中央病院 検診センター)

会長特別企画 2

2026年10月30日(金) 第1会場(3F ホールD) 14:00～15:30

大腸癌の発育進展における陥凹型大腸腫瘍の臨床意義

司会：田中 信治(医療法人ハートフル アマノ病院/広島大学)

藤井 隆広(医療法人社団隆風会 藤井隆広クリニック)

大腸癌の発育進展における陥凹型大腸腫瘍の臨床意義

基調講演：藤井 隆広(医療法人社団隆風会 藤井隆広クリニック)

「大腸癌の発育進展における陥凹型大腸腫瘍の臨床意義」

私の考える臨床意義①

疫学から考える陥凹型大腸腫瘍の臨床意義

演者：石川 秀樹(京都府立医科大学 分子標的予防医学)

稀な陥凹型は、進行癌の起源となり得るか？

演者：三澤 将史¹⁾、工藤進英²⁾、石橋史明¹⁾、神山勇太³⁾、小川悠史¹⁾、一政克朗¹⁾、大塚和朗¹⁾

(1) 昭和医科大学横浜市北部病院、2) 昭和医科大学、3) 国立がん研究センター中央病院)

大腸癌の発育進展における陥凹型大腸腫瘍の臨床的意義

—Japan Polyp Study と大島 Study から

演者：松田 尚久(東邦大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野)

シンポジウム 1

2026年10月30日(金) 第2会場(3F ホールC) 14:00～15:30

共催：ミヤリサン製薬株式会社

炎症性腸疾患 モニタリングの現在地と展望

司会：中村 志郎(互恵会 大阪回生病院 消化器内科)

小林 拓(北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

S1-1 発症早期潰瘍性大腸炎の寛解維持期における内視鏡的炎症変化の検討

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

○野上 章、辛島 遼、井上 楠奈子、藤井 紘大、北條 紋、鳥羽 崇仁、松田 尚久

S1-2 AI搭載超拡大内視鏡による潰瘍性大腸炎の組織学的活動性評価および臨床的再燃予測の有用性

関西医科大学附属病院 内科学第三講座

○濱田 友佳、中田 英俊、八木 直人、安岡 遼、佐野 泰樹、堀谷 俊介、
本澤 有介、齊藤 詠子、長沼 誠

S1-3 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の自然史から考えるサーベイランス内視鏡における注意点

¹⁾慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)、²⁾慶應義塾大学医学部 内視鏡センター、

³⁾慶應義塾大学医学部 病理学、⁴⁾慶應義塾大学 予防医療センター

○脇坂 悠介¹⁾、杉本 真也¹⁾、吉松 裕介¹⁾、清原 裕貴¹⁾、三上 洋平¹⁾、高林 馨²⁾、
川井田 みほ³⁾、下田 将之³⁾、岩男 泰⁴⁾、金井 隆典¹⁾

S1-4 潰瘍性大腸炎に対する抗IL-23 p1抗体製剤治療後の腸管超音波所見と24週臨床的寛解との関連

兵庫医科大学 医学部 消化器内科学講座

○藤平 雄太郎、賀来 宏司、白石 哲也、脇田 碧、高木 康宏、池ノ内 真衣子、
佐藤 寿行、河合 幹夫、横山 陽子、新崎 信一郎

S1-5 高齢発症潰瘍性大腸炎におけるベドリズマブの治療成績 — 若年発症例との比較：便中カルプロテクチン値の推移と治療継続率の検討

¹⁾辻仲病院柏の葉 診療技術部薬剤科、²⁾辻仲病院柏の葉 IBDセンター、

³⁾辻仲病院柏の葉 消化器内科、⁴⁾辻仲病院柏の葉 大腸肛門外科、⁵⁾辻仲病院柏の葉 看護部

○佐藤 将嗣¹⁾、竹内 健^{2,3)}、藤田 志穂¹⁾、瀬古 美帆¹⁾、古谷 誠^{2,3)}、所 典子^{2,5)}、
筑後 恵美^{2,5)}、浜畑 幸弘^{2,4)}

S1-6 国内データベースを用いた治療安定期潰瘍性大腸炎における便中・血清バイオマーカーの治療強化予測能の比較

¹⁾北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター、

²⁾北里大学北里研究所病院 消化器内科、

³⁾TOPPAN ホールディングス株式会社 事業開発本部 ヘルスデータ事業推進センター

○山崎 裕太¹⁾、端本 直輝³⁾、別府 汐³⁾、大嶋 英之³⁾、風戸 知子³⁾、小林 拓^{1,2)}

S1-7 リサンキズマブ血中濃度によるクローン病の内視鏡的寛解予測能の検討

滋賀医科大学 消化器内科

○吉田 晋也、西田 淳史、横田 佳大、今井 隆行、大野 将司、岩下 拓司

S1-8 粘膜治癒を達成した潰瘍性大腸炎の再燃予測における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体の測定意義に関する検討

京都大学医学部附属病院 消化器内科

○北本 博規、岡部 誠、清水 莉香、檜垣 華菜子、冬野 貴之、小野山 裕亮、
並川 実桜、栗田 威、塩川 雅広、妹尾 浩

S1-9 血清プロテオーム解析によるUC内視鏡活動性バイオマーカー探索

東北大学 大学院医学系研究科消化器病態学分野

○角田 洋一、伊藤 啓紀、大坂 龍也、岩城 英也、岡本 大祐、永井 博、
下山 雄丞、内藤 健夫、諸井 林太郎、正宗 淳

シンポジウム2 (ビデオ)

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 10:10～11:20

大腸内視鏡診断・治療のとおき Tips

司会：斎藤 豊(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

角嶋 直美(昭和医科大学病院 消化器内科)

S2-1 鋸歯状病変の表面構造が見えにくい時の一手：IC併用RDI観察

札幌医科大学 医学部内科学講座消化器内科学分野

○吉井 新二、齋藤 潤信、三宅 高和、仲瀬 裕志

S2-2 大腸上皮性病変の内視鏡診断におけるNBI/BLI観察と酢酸下拡大pit pattern観察の比較検討

¹⁾京都博愛会病院 消化器内科、²⁾京都府立医科大学大学院 消化器内科学、

³⁾西陣病院 消化器内科

○富田 侑里¹⁾、吉田 直久²⁾、稲垣 恭和³⁾、小林 玲央²⁾、井上 健²⁾、安達 岳似¹⁾、
若月 芳雄¹⁾、高木 智久²⁾

S2-3 Two-fingers methodと左右アングルロックの併用：大腸内視鏡診断から治療まで

静岡がんセンター 内視鏡科

○高田 和典、堀田 欣一、今井 健一郎、伊藤 紗代、小野 裕之

S2-4 水中環境の浮力を利用した有茎性大腸腫瘍に対するUEMRの実際

神奈川県立がんセンター 消化器内科

○塩月 一生、竹田 安里彩、嵐山 真、御厨 優一郎、南方 信久、滝沢 耕平

S2-5 前処置困難な直腸盲端腫瘍に対する浸水法とプロナーゼ局所洗浄による診断の工夫—正確な深達度診断と治療切除に寄与した1例—

¹⁾国立がん研究センター中央病院 内視鏡科、²⁾国立がん研究センター中央病院 病理診断科

○吉井 健大¹⁾、豊嶋 直也¹⁾、遠山 昌宏¹⁾、穴戸 泰紀¹⁾、古要 優樹¹⁾、
神山 勇太¹⁾、高丸 博之¹⁾、山田 真善¹⁾、羽賀 敏博²⁾、斎藤 豊¹⁾

S2-6 単一の Multi-Loop Traction Device を用いた近接多発大腸腫瘍に対する逐次リリース牽引法

¹⁾昭和医科大学 医学部内科学講座消化器内科学部門、²⁾昭和医科大学病院 内視鏡センター
○中谷 真也¹⁾、森 大地¹⁾、大西 良尚¹⁾、樋口 健佑¹⁾、鈴木 統大¹⁾、菊池 一生¹⁾、
居軒 和也¹⁾、若村 邦彦²⁾、片桐 敦¹⁾、角嶋 直美¹⁾

S2-7 深部結腸のスコープ操作性不良 ESD におけるシングルバルーンオーバーチューブの有用性

¹⁾広島大学病院 消化器内科、²⁾広島大学病院 消化器内視鏡医学講座
○田中 秀典¹⁾、網岡 祐生¹⁾、加藤 尚宏¹⁾、山根 大寛¹⁾、才野 正新¹⁾、
濱田 拓郎¹⁾、山下 賢¹⁾、岸田 圭弘¹⁾、桑井 寿雄²⁾、岡 志郎¹⁾

S2-8 大型大腸腫瘍に対する Gel-immersion ESD の有用性

¹⁾京都府立医科大学大学院 消化器内科学、²⁾京都博愛会病院 消化器内科、
³⁾京都府立医科大学大学院 臨床病理学
○井上 健¹⁾、吉田 直久¹⁾、丸尾 和也¹⁾、加納 卓¹⁾、小林 玲央¹⁾、富田 侑里²⁾、
森永 友紀子³⁾、小嶋 基寛³⁾、高木 智久¹⁾

S2-9 R0 切除率向上を目指した、直腸病変に対する PAEM の Tips

¹⁾昭和医科大学横浜市北部病院 消化器センター、
²⁾昭和医科大学横浜市北部病院 臨床病理診断科
○加藤 駿¹⁾、林 武雅¹⁾、櫻井 達也¹⁾、宮田 裕輝¹⁾、峯岸 洋介¹⁾、一政 克朗¹⁾、
三澤 将史¹⁾、澤田 成彦¹⁾、根本 哲生²⁾、大塚 和朗¹⁾

パネルディスカッション 1

2026年10月30日(金) 第1会場(3F ホールD) 10:30～12:00

共催：富士フイルムメディカル株式会社

Underwater ESD 2.0

司会：山本 博徳(自治医科大学 富士フイルムメディカル国際光学医療講座)
浦岡 俊夫(群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 消化器・肝臓内科学分野)

PD1-基調講演

Underwater ESD, why? —最大限に活用するための工夫—

Continuous low-pressure saline perfusion (CLPSP) and bubble-free settings

自治医科大学富士フイルムメディカル国際光学医療講座

○山本 博徳

PD1-1 Underwater ESD用新規先端フードの有用性—大腸モデルを用いた従来フードとの比較検証—

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

○吉井 健大、豊嶋 直也、遠山 昌宏、穴戸 泰紀、古要 優樹、河村 玲央奈、水口 康彦、市島 諒二、神山 勇太、阿部 清一郎、斎藤 豊

PD1-2 HYBRID knife で挑む大腸ESD—局注針・粘膜下注入材は省略できるか？—

¹⁾ 福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部、²⁾ 福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座、³⁾ 福島県立医科大学附属病院 炎症性腸疾患センター

○根本 大樹^{1,2,3)}、綿引 優^{2,3)}、須藤 一達²⁾、佐久間 千陽^{2,3)}、持丸 友昭^{2,3)}、鬼澤 道夫^{2,3)}、引地 拓人¹⁾、大平 弘正²⁾

PD1-3 出血時のみビスコクリア®を用いる On-demand Gel-assisted Underwater ESD

岡山大学病院 消化器内科

○山崎 泰史、豊澤 惇希、山本 高史、青山 祐樹、衣笠 秀明、大塚 基之

PD1-4 大腸ESDにおける Underwater technique の臨床成績と安全性の検討

¹⁾ 慶應義塾大学 医学部 消化器内科、²⁾ 慶應義塾大学 医学部 内視鏡センター、³⁾ 慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門

○村田 祥磨^{1,2)}、増永 哲平³⁾、高林 馨²⁾、金井 隆典¹⁾、加藤 元彦²⁾

PD1-5 大腸の粘膜下層高度線維化病変に対する Gel-immersion ESD の有用性

¹⁾ 京都府立医科大学 消化器内科学、²⁾ Barwon Health Department of Gastroenterology、³⁾ 京都博愛会 消化器内科、⁴⁾ 京都府立医科大学附属病院 病理診断科

○吉田 直久¹⁾、Dhillon Hardesh²⁾、井上 健¹⁾、小林 玲央¹⁾、富田 侑里³⁾、森永 友紀子⁴⁾、小嶋 基寛⁴⁾、高木 智久¹⁾

PD1-6 大腸腫瘍に対する持続灌流法 (Continuous irrigation method; CIM) を用いた underwater ESD

東京医科大学病院 消化器内科

○村松 孝洋、福澤 誠克、山西 文門、水町 碧、秦 彰宏、香川 泰之、内田 久美子、森瀬 貴之、河野 真、内藤 咲貴子、糸井 隆夫

PD1-7 出力同期送水装置による Flushing Forced Method 用いた大腸 Underwater ESD の検討

大阪公立大学 大学院医学医学研究科 消化器内科学

○福永 周生、月田 里映、高橋 駿介、北川 大貴、大南 雅揮、細見 周平、藤原 靖弘

PD1-8 持続低圧生理食塩水灌流法による大腸ESDにおけるintrachannel delivery法のドレナージ成績の検討

¹⁾ 栃木県立がんセンター 消化器内科、

²⁾ 自治医科大学 富士フィルムメディカル国際光学医療講座

○佐藤 知之¹⁾、橋元 幸星¹⁾、山本 博徳²⁾

教育講演 1

2026年10月30日(金) 第2会場(3F ホールC) 16:25～17:00

共催：株式会社JIMRO

潰瘍性大腸炎関連腫瘍の内視鏡診断

ー 臨床病理学的特徴を踏まえて ー

司会：長沼 誠(関西医科大学 内科学第三講座(消化器肝臓内科))

演者：岩男 泰(慶應義塾大学 予防医療センター)

教育講演 2

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 9:00～9:30

熊本市と医師会は、なぜ、生涯1回の大腸内視鏡検診に至ったか。

- 検便による大腸がん検診を補完する位置づけとその効果 -

司会：松田 尚久(東邦大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野)

演者：尾田 恭(尾田胃腸内科・内科)

教育講演 3

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 9:35～10:05

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

洗浄から予防へ～大腸内視鏡感染対策の新たなアプローチ～

司会：斎藤 彰一(がん研有明病院 下部消化管内科)

演者：藤江 舞(千葉大学医学部附属病院 内視鏡センター)

内視鏡技師セミナー 1

【会場：3F「ルームA」】※ハンズオン事前申込者対象セミナー

2026年10月31日（土） 第2会場（3F ホールC） 9:00～9:30

内視鏡治療介助のコツ（CSPからESDまで）

司会：佐藤 真己（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 内視鏡センター）

演者：志賀 拓也（NTT東日本関東病院 内視鏡部）

2026年10月31日（土） 第2会場（3F ホールC） 9:40～11:20

大腸 ESD 内視鏡医・技師共同ハンズオントレーニングセミナー

協力：オリンパスマーケティング株式会社

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

株式会社アムコ

コーディネーター：高丸 博之（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

技師：志賀 拓也（NTT東日本関東病院 内視鏡部）

佐藤 真己（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 内視鏡センター）

インストラクター：港 洋平（NTT Medical Center Tokyo / NTT東日本関東病院 消化器内科）

樺 俊介（東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 内視鏡部）

鈴木 桂悟（がん研有明病院 下部消化管内科）

神山 勇太（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

内視鏡技師セミナー 2

【会場：3F「ルームA」】※ハンズオン事前申込者対象セミナー

2026年10月31日（土） 第2会場（3F ホールC） 11:30～12:00

内視鏡的閉鎖・縫縮介助のコツ（ClipからSutuArtまで）

司会：双田 幸希（日本医科大学附属病院）

演者：佐々木 基（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

2026 年 10 月 31 日（土） 第 2 会場（3F ホール C）13:10 ～ 14:50

大腸縫縮 内視鏡医・技師共同ハンズオントレーニングセミナー

協力：オリンパスマーケティング株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

コーディネーター：飽本 哲兵（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

技師：佐々木 基（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

双田 幸希（日本医科大学附属病院）

インストラクター：佐藤 知子（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 内視鏡部）

樋口 和寿（日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科）

加古 里子（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

桐田久美子（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター）

モーニングセミナー 1

2026 年 10 月 30 日（金） 第 1 会場（3F ホール D） 9:30 ～ 10:20

共催：オリンパスマーケティング株式会社

大腸内視鏡診療の NEXT STAGE

～スクリーニング・診断・治療を繋ぐ新展開～

司会：藤井 隆広（医療法人社団隆風会 藤井隆広クリニック）

NBI+TXI による大腸内視鏡検査の新展開

～スクリーニングから質的診断まで～

演者：玉井 尚人（東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座）

大腸内視鏡治療の新展開

演者：一政 克朗（昭和医科大学横浜市北部病院 消化器センター）

モーニングセミナー 2

2026年10月30日(金) 第2会場(3F ホールC) 9:30～10:20

共催：持田製薬株式会社

留学で学んだIBD免疫学

— CyTOF解析による薬剤反応性の検討とIL-23/Th17経路への展望 —

司会：平田 一郎(医療法人伯鳳会 大阪中央病院 消化器内科)

演者：堀谷 俊介(関西医科大学 消化器肝臓内科)

モーニングセミナー 3

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 8:30～8:55

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

中等症における潰瘍性大腸炎治療の実際とゼポジアの可能性

司会：大塚 和朗(昭和医科大学横浜市北部病院 消化器センター)

演者：吉田 篤史(大船中央病院 消化器・IBDセンター)

ランチョンセミナー 1

2026年10月30日(金) 第1会場(3F ホールD) 12:10～13:10

共催：EA ファーマ株式会社

大腸内視鏡前処置

司会：樫田 博史(川西市立総合医療センター)

空飛ぶ内視鏡チームJETの挑戦

— 遠隔支援と医療DXでつなぐ内視鏡診療 —

演者：井上 太郎(神戸徳洲会病院／岸和田徳洲会病院)

国内外における大腸がん検診の現況と大腸内視鏡検査の進歩 ～前処置の工夫を含めて～

演者：吉田 直久(京都府立医科大学大学院 消化器内科学)

ランチョンセミナー 2

2026 年 10 月 30 日 (金) 第 2 会場 (3F ホールC) 12:10 ~ 13:10

共催：ヤンセンファーマ株式会社

Treat to Target の治療戦略からみた Guselkumab の使いどころ

司会：佐野 寧 (医療法人薫風会 佐野病院・関西医科大学)

演者：長沼 誠 (関西医科大学 内科学第三講座)

ランチョンセミナー 3

2026 年 10 月 31 日 (土) 第 1 会場 (3F ホールD) 12:05 ~ 13:05

共催：ファイザー株式会社

潰瘍性大腸炎治療における S1P 受容体調節薬ベルスピティ錠の有用性

司会：岡 志郎 (広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学)

「潰瘍性大腸炎治療におけるベルスピティ[®]の位置づけ
—作用機序から自施設データ、適正使用まで—」

演者：米田 頼晃 (近畿大学医学部 消化器内科)

「潰瘍性大腸炎の新しい治療戦略を構築する：
S1P 受容体調節薬の好適例を模索する」

演者：本谷 聡 (札幌厚生病院 IBD センター)

アフタヌーンセミナー 1

2026 年 10 月 30 日 (金) 第 1 会場 (3F ホールD) 15:40 ~ 16:20

共催：エグザクトサイエンス株式会社

リキッドバイオプシーによる MCED (multi-cancer early detection) 検査の現状と展望

司会：池松 弘朗 (東京大学 医科学研究所 先端消化器内視鏡学分野)

演者：吉野 孝之 (慶應義塾大学医学部 国際先端医療研究開発センター)

アフタヌーンセミナー2

2026年10月30日(金) 第2会場(3F ホールC) 15:40～16:20

共催：積水メディカル株式会社／EAファーマ株式会社

IBD診療におけるバイオマーカーの役割

司会：中村 志郎(大阪回生病院)

演者：渡辺 憲治(富山大学附属病院 炎症性腸疾患内科・IBDセンター)

アフタヌーンセミナー3

2026年10月31日(土) 第1会場(3F ホールD) 13:10～14:10

共催：ムンディファーマ株式会社

内視鏡鎮静の最適化戦略 ～実臨床データから考える安全性と質の向上～

司会：工藤 由比(工藤胃腸内科クリニック)

実臨床データから考える内視鏡鎮静の最適化
ーレミマゾラムの可能性と課題ー

演者：加藤 元彦(慶應義塾大学医学部 内視鏡センター)

消化器内視鏡鎮静のパラダイムシフト
～安全性と効率化の両立～

演者：市島 諒二(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

イブニングセミナー

2026年10月30日(金) 第1会場(3F ホールC) 16:25～17:00

共催：株式会社プロトセラ

Greener Gastroenterology of Endoscopy

司会：山野 泰穂(江別市立病院 消化器病センター・消化器内科)

演者：内藤 裕二(京都府立医科大学 生体免疫栄養学講座・消化器内科学)